

高校生がうしくを輝かせるために 市内フィールドワークを実施

6月24日に県立牛久栄進高等学校の2年生43人が牛久シャトーを見学しました。

牛久栄進高等学校では、総合的な探求の時間として、地域課題に根差したカテゴリから生徒自身が問いを設定し、課題解決の思考力や実践力などを身につけるための活動を行っています。今回の活動に参加した43人は「地域振興クラス」に所属し、地域活性化などについて調査を行っているとのことでした。

生徒たちは通常は公開していない本館2階を見学し、学芸員から話を聞いたり、国産ぶどう酒を生み出した牛久の人々の営みが記録された収蔵資料や古い写真に触れたりしました。「なぜこの地に牛久シャトーが造られたのか？」など、事前に調べ疑問に思った点を積極的に質問する姿が印象的でした。（答えは東京までの交通の利便性と、ワイン用のブドウ栽培に適した土壌で広大な土地を確保できたため。）高校生のこのような活動は、地域への誇りや愛着を醸成するきっかけとなり、地域課題の解決や活性化に繋がる取り組みであると感じました。



議場の椅子と音響システムを更新

議会TOPICS

1974年建築の本庁舎4階にある議場の設備は老朽化が進んでいます。

令和7年度末に、座席の修理及びカバーの張り替え、また不具合が出ていた音響システムの改修を行いました。新たな設備の設置により議会運営の安定化と議会活動の活性化を図ります。



▲修理を行った議場の座席

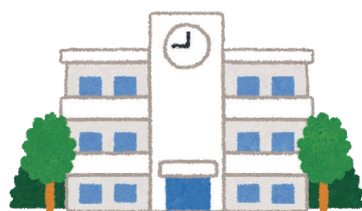


▲質問席 マイクの更新と小型モニターを設置。モニターには一般質問の残時間を表示。

編集後記

県立牛久栄進高等学校が牛久市と協力し、日本遺産プログラムに取り組みました。これを一過性の学習で終わらせず、未来に結ぶためには、若者が地域に出て、地域資源を学び、考え、挑戦へ変えていく仕組みが必要です。学校と地域がつながること、新しい仕事や活動が生まれ、まちに新しい富がまわる。その可能性を強く感じました。

（塚原）



発行・編集 広報常任委員会

委員長 水梨 伸晃
副委員長 伊藤 知子
委員 石原 幸雄
大森 和夫
塚原 正彦
出澤 政之
加藤 政之

〒300-11292

牛久市中央3丁目15番地1

TEL 029-873-2111

（牛久市議会事務局）